

第1学年 生活科学学習指導案

指導者 組

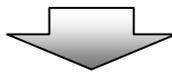
1 単元名「あきだいすき」～みんなでつくろう つこ あきの たからばこ～

2 単元の考え方

何のために

本学級の児童は、これまでの学習で、校庭や校区内の公園探検を通して、友達と共に、生き物や草花などの自然と触れ合う遊びを行ってきた。繰り返し探検を行うことで、身近な自然に関心を持ち、進んで遊ぶ姿が見られた。

本単元においては、秋の自然物を見付け、集めた物で、試行錯誤しながら遊ぶ物や飾る物をつくる活動を行う。探検や遊びで友達との関わりを深めながら、見付けた秋の自然物や、自分のつくっている物への気付きの質を高めることができる児童を育てる。



何を

本単元では、秋見付けをしたり、集めた自然の物でつくって遊び、気付いたことやつくったものを伝え合う活動を展開する。

本校校区は、海に面しており、公園や広場が多く、自然に恵まれた校区である。また、本学級児童は、探検が大好きであり、自然や草花に興味をもっている。

本教材は、校区の特色と児童の実態から、児童一人一人が、その子らしい思いや願いを抱き、進んで自然や友達と楽しく関わっていく中で、四季の変化や季節のよさに気付くことができる価値があると考えられる。さらに、探検して集めた物を使って遊ぶ物や飾る物をつくることで、その面白さや秋の自然物の特徴に気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにするという気付きの質を高めることができる教材である。



どのように

児童が探検したことや、公園で木の実や葉っぱを見付けたり集めたりしたものを、発見カードに絵と文でかき表すことで、自分の活動を通しての気付きを明らかにすることができる。また、カードにかいた気付きを友達と伝え合ったり、教師が見取ってコメントしたりすることで、一人一人の気付きを価値付ける。このようにして、秋という季節を実感したり、秋の自然物を興味・関心を持って観察したりして、その特徴や斉一性について知り、気付きの質を高めることができる。

さらに、集めた物の、特徴に対する気付きを生かし、友達と関わりながら遊ぶ物や飾る物をつくって楽しむ活動を行う。このことにより、身近にある物を使って、遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができる。

こんな表現物で

【発見カード】

気づきをとどめたり、明確化させたりするためのカード

- ・ A4の4分の1の大きさ
- ・ もっと見付けたいという意欲を持たせたり、友達の気づきと比べたりできるように、1枚のカードに1つの気づきをかく
- ・ 色、形、手触りなどの視点を与え、五感を通した気づきを絵や文でかき表す。

めあて まつぼくりをみつけたい		
月 日	はっけんしたもの	まつかさ
		
いちまいいちまいめがついていたよ。		
なまえ _____		

めあて きのみをあつめたい		
月 日	はっけんしたもの	おなもみ
		
ちくちくしてようふくにつくおなもみをにしこうえんで見つけたよ。		
なまえ _____		

【ふりかえりカード】 活動を振り返り、思いや願いを文章で書くカード

よかったこと・したこと

こまったこと・たすけてほしいこと

もっとしたいこと

月 日 よう日
こうえんで、ともだちといっしょに、まつぼくりをたくさんひろってたのしかったです。
なまえ ()

月 日 よう日
コオロギをつかまえたかったけど、つかまえられなくてざんねんでした。
なまえ ()

月 日 よう日
あつめたどんぐりや、まつぼくりで、なにかをつくりたいな。
なまえ ()

秋見付けの探検活動を通して、思ったことや考えたことを文章に書き表すことで、自分の活動を振り返り、気づきを整理することができるようにする。

ふりかえりカードに書いたことを全体で交流する。ピンクや黄色のカードにより、次の活動の意欲やめあてをもたせることができる。水色のカードに対しては、友達からアドバイスしてもらい、困っていることを解決し、友達との関わりを深めることができる。

こんな目標と指導計画で

3 単元の目標と指導計画（全24時間）

〈学ぶ意欲・態度〉

- ・身近な公園や広場で、草木や虫、木の実などの秋の自然に親しみ、楽しく遊ぶことができる。
- ・秋の自然物を集めて、遊ぶ物や飾る物を楽しくつくったり遊んだりする。

〈問題を解決する力〉

- ・秋を感じる物を自ら進んで見付けたり、遊んだりすることができる。 （課題を発見する力）
- ・季節による身の回りの動植物の季節による違いを、諸感覚を働かせて感じるすることができる。 （人・もの・ことにかかわる力）
- ・身近な自然とのふれあいを通して、季節の変化に気付くことができる。 （考える力）
- ・自然を観察したり、自然を使って遊んだりして、秋の様子やよさを自分なりに表現したり、伝えたりすることができる。 （表現する力）
- ・集めた秋の自然物の素材を生かして、つくりたい物を決め、遊ぶ物や飾る物をつくることができる。 （課題を発見する力）
- ・つくったり、遊んだり、友だちと交流したりしながら、自分のつくっている物に工夫や改良をすることができる。 （考える力）

〈生きて働く知識（気付き）〉

- ・身近な公園や広場で、動植物の季節の変化に気付くことができる。
- ・身の回りの物を使って、楽しい遊ぶ物や飾る物をつくり出すことができることに気付く。
- ・つくったり、遊んだりしながら、材料の特質を生かすことに気付く。
- ・つくったり遊んだりして交流しながら、自分たちでつくる遊びの工夫や面白さに気付く。

段階	配時	学習活動と内容	指導・支援
であう	4 ①	1 自分の知っている秋や見つけた秋について話し合う。 (1)秋はどんな季節か 夏よりすずしくなるよ。 せみがいなくなったよ。 葉っぱの色が変わるよ。 (2)どこでどんな秋をみつけたか 団地の公園でどんぐりをみつけたよ。 とんがり公園の木の葉っぱが黄色くなったよ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋について想起しやすくするために、春、夏の経験を振り返ることのできる掲示物や校区地図を提示しておく。 ○ 登下校中や放課後にも意欲的に秋見付けができるように、校区地図を活用したみつけたよコーナーを設け、実物や絵、写真等を展示・掲示できるようにする。 ○ 色や形、手触りなどの視点を与え、自分の経験と照らし合わせて例えたり比べたりしながら、発見カードをかくように指導する。 ○ 見つけた秋を発見カードにかいて掲示し、児童同士で情報交換ができるようにする。 ○ 校庭の木々や草花の様子が変わってきたことに気付き、1学期単元「だいすきなあそびば」で探検した公園に目を向けることができるようにする。 ○ 見つけた秋を集めるだけでなく、集めた物で、何かをつくって楽しみたいというふりかえりカードを意図的にとり上げ、めあてをつくる。
	②	2 校庭の秋を見つけに行く。 ・発見カードをかく 赤いきれいな葉っぱをみつけたよ。 木の実があったよ。 ・ふりかえりカードを書く どんぐりがなくてざんねんだった。 どかん公園にいった、さがしてみたいな。 どんぐりごまをつくりたいな。 ・これからのめあてを決める <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> めあて ○○っこ あきの たからばこをつくろう。 </div>	

	<p>① 3 探検の計画を立て、探検の準備をする。</p> <p>(1)どこに行くとかくさん見つけられるか話し合う。</p> <p>(2)探検の場所と内容を確認する 場所…西公園 とんがり公園 市住の公園 どかん公園, 大すべり台公園 内容…秋見付けをして、つくりたい物に使えるものを集める</p> <p>(3)探検のきまりや、探検に必要な物を考えて、探検の準備をする。</p>	<p>○ どこに行けばいいかを話し合っ て決めることができるように、み つけたよコーナーに絵や写真を掲 示しておく。</p> <p>○ 1学期にいった探検を思い出 して、安全のことや服装、持っ て行く物を考えることができるよ うにする。</p>
<p>や っ て み よ う</p>	<p>17</p> <p>4 探検に行く。</p> <p>③ (1)体験活動①…校区の公園や広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっけんカードをかく。 ちいさいどんぐりをみつけたよ。 しゅりけんの形のつばきのからをみつけたよ。 <p>③ (2)体験活動②…校区の公園や広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっけんカードをかく。 前とは違うまるい形のどんぐりをみつけたよ。 コオロギがいたから、つかまえたよ。 <p>③ (3)体験活動③…公園 (校区外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっけんカードをかく。 ちくちくしてようふくにくつつくおなもみをみつけたよ。 落ち葉の山ですべりだいをしたよ。 ・ふりかえりカードを書く。 たくさんまつぼっくりがあつまってよかった。 おなもみでの的当てゲームをつくりたいな。 公園でお友達と遊んで楽しかったよ。 虫をつかまえたかったな。 <p>① 5 集めた物で遊ぶ物や飾る物をつくる。</p> <p>(1)集めた物でつくる物について話し合い、つくる物を決める。</p> <p>(集めた物) どんぐり、葉っぱ、おなもみ、まつぼっくり</p> <p>(つくる物) どんぐりごま、どんぐりのめいろ、おなもみの的当て、まつぼっくりのツリー、コオロギのかいかた</p> <p>② (2)つくる活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ物をつくっている者が集まって、つくる。 どんぐりをまっすぐに立てて、真ん中にあなをあけるといいよ。 おなもみの的は、ダンボールではつかないね。 	<p>○ 公園や広場の自然の中で、友達と一緒に活動して、秋を体感したり、秋の自然物を見付けたり集めたりすることができるように、十分に探検の時間を確保する。</p> <p>○ 探検の後、発見した物や楽しかったことを発見カードにかかせることで、次の活動の意欲をもたせる。</p> <p>○ 五感を働かせて見付けた秋を発見カードにかくように、視点を与えて、気づきを明確化させる。</p> <p>○ 発見カードへの教師のコメントは、色や形、数、種類や変化などに目が向くようにし、児童が次の活動のめあてにできるようにする。</p> <p>○ 発見カードやふりかえりカードを交流することで、一人一人の気づきを共有化したり、関連付けたりして、気づきを価値付ける。</p> <p>○ つくりたい物を決めるために、みつけたよコーナーに展示しているこれまでに集めた物と、掲示しているふりかえりカードを活用する。</p> <p>○ 助言し合ったり、お手本にしたりして試行錯誤できるように、同じおもちゃをつくっている者で集まる。</p>

	<p>②</p> <p>① 本 時</p> <p>②</p>	<p>(3) つくる活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ物をつくっている者が集まってつくる。 つまようじの長さをかえてみると、長くまわる どんぐりごまになるよ。 めいろの道の途中で行き止まりをつくろう。 おなもみをどこから投げるか決めよう。 <p>(4) つくっている物を見せ合ったり遊び合ったりして、自分の作品のよい点や、改良点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作っている途中の物で交流する。 ・ふりかえりカードを書く。 どんぐりごまで、だれが一番長くまわるか競争をして一番になってうれしかった。 おなもみの的当てゲームの的が、おもしろかった。 まつぼっくりのツリーに、キラキラする飾りをつけてみようと思います。 <p>(4) つくる活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをもとに改良して、作品を完成させる。 長くまわるかだけでなく、どちらが強い競争や逆さごまの競争も考えました。 めいろのまわりに、どんぐりや葉っぱで飾りをつけました。 	<p>○ つくっている遊ぶ物や飾る物を見せ合ったり、遊び合ったりして、手作りの作品の楽しさや面白さを実感させる。</p> <p>○ もっと面白いものができるようにする意欲や、次の活動のめあてを持つことができるように、うまくできなくて困っていることや、できてうれしかったことをふりかえりカードに書かせる。</p>
<p>も っ と や っ て み よ う</p>	<p>3</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>6 つくった作品を紹介し、宝箱に入れる。</p> <p>(1) つくった作品を紹介する。 得点の高い的をねらって、おなもみを投げてください。下から投げるのがコツです。 まつぼっくりに絵の具で色をつけて、飾りをつけて、かわいいツリーができました。見てください。</p> <p>つくったおもちゃを面白いといってもらえてうれしかった。 手づくりおもちゃは、とても楽しいから、またつくりたい。</p> <p>(2) これまでの活動をふり振り返り、前時で紹介したおもちゃを宝箱に並べる。 おもちゃ箱に入れた、これまでにつくったおもちゃで、いつでもみんなで遊ぶことができるね。</p>	<p>○ 作り上げた作品の面白さや身近な人と遊ぶことの楽しさを実感させるために、つくったおもちゃの特徴を伝えて、友達に遊んでもらう。</p> <p>○ 遊んだことを振り返り、手づくりの物の面白さや身近な人と遊ぶ楽しさを実感させる。</p> <p>○ 宝箱に作品を収め、これからの生活に生かせることを知る。</p>

4 本時 やってみようの段階における交流活動（19／24）

於 1年 組教室

5 本時の目標

- 秋の自然物を使って、つくっている途中の遊ぶ物や飾る物を、見せ合ったり遊び合ったりし、自分達がつくっている物の面白さを実感する。（表現する力・考える力）

6 本時指導の考え方

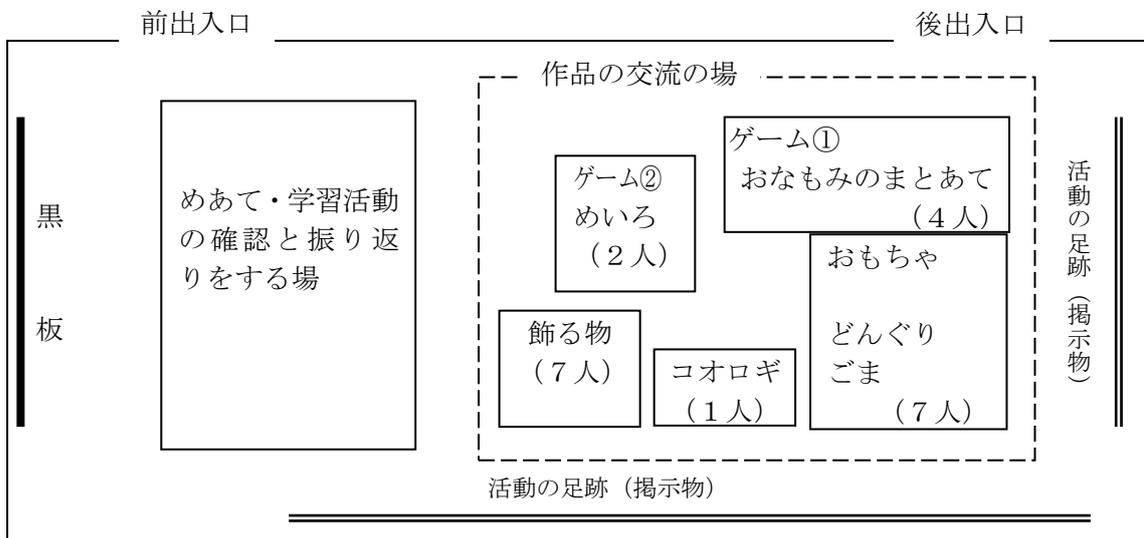
前時までに児童は、秋見付けで集めた自然物を使って、友達と共に、試行錯誤しながらより面白いおもちゃやゲーム等をつくってきた。

本時は、つくっている途中の作品を、友達と見せ合い・遊び合いをし、自分達の作品を振り返る中間交流の場面である。

まず、つくっている作品の気に入っているところや見てほしいところ、楽しんでほしいところを友達に教える。おもちゃやゲームは、実際に遊び合いをする。次に、自分や友達がつくっている物の面白さや、遊んで楽しかったこと、もっと工夫をした方がよいところなどを振り返る。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとる。

(1) 交流の場の工夫



① 遊び合いの交流

おもちゃの種類ごとに場をつくり、見せ合い、遊び合いをする。

② 学習のふり返しをする全体交流

見せ合い、遊び合いをした後、ふりかえりカードを書いて、書いたことを全体で交流する。自分や友達がつくっている物のこと、見たり聞いたり遊んだりしたことを書くときの視点とする。

(2) ふりかえりカード

月	日	曜日
<u>ともだちのつくったどんぐりごま</u>		
<u>までだれがいちばんながくまわる</u>		
<u>かきょうそうをしました。さいし</u>		
<u>よはうまくまわらなかったけど、</u>		
<u>まわすこつをおしえてもらって、</u>		
<u>いちばんになってうれしかった。</u>		
なまえ ()		

月	日	曜日
<u>まとあてゲームがたのしいと、</u>		
<u>ともだちがいてくれてうれしか</u>		
<u>った。2くみさんやおうちの人に</u>		
<u>もきてもらって、たのしんでもら</u>		
<u>いたいな。</u>		
なまえ ()		

自分や友達がつくっている遊ぶ物や飾る物の面白さや、みんなで遊ぶ楽しさについて書かれたふりかえりカードを意図的に取り上げ、作品を完成させたいという意欲をもたせる。

7 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援
<p>1 本時のめあてと活動の仕方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて つくっているものを、ともだちに おしえよう。</p> </div> <p>2 見せ合い・遊び合いをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○教えること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて知ったこと・工夫したこと ・お気に入り・ぜひ見てほしいところ ・遊び方・遊ぶこつ <p>(例)「コオロギの上手な飼い方を調べました。コオロギは野菜だったらなんでも食べます。土や石や隠れ場所を作ってコオロギが喜ぶようにしました。」</p> </div> <p>3 今日の学習をふり返る。</p> <p>(1) 今日の学習の感想を2・3人が言う。</p> <p>(2) ふりかえりカードを書く。</p> <p>(3) 書いたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ふり返りの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達のおもちゃ、ゲーム、飾り、コオロギのこと ・きいたり、見たり、遊んだりしたこと。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のつくったどんぐりごまは、よくまわって面白かった。 ・私達がつくったゲームを友達が面白いと言ってくれて嬉しかった。2組さんやお家の人も招待して楽しんで欲しいな。 </div>	<p>○ 前時までの学習を想起できるように、これまでの発見カードやふりかえりカード、活動場面の写真を掲示しておく。</p> <p>○ つくっている物のお気に入りや遊び方など、教える時の視点を与える。</p> <p>○ 自分達のつくっている物を友達に教えたいという児童またはグループから発表をする。児童の自発的な発表の意欲を称賛して、見せ合いや遊び合いを広げていく。</p> <p>○ 自分や友達のつくっている物や、伝え合うことに対する面白さや楽しさを実感できるように、「つくっている物のこと」と「教えたり、聞いたり、見たり、遊んだりしたこと」をふり返りの視点にする。</p> <p>○ 自分や友達のつくった物の面白さ、伝え合うことの喜び、みんなで遊ぶ楽しさについて書かれたふりかえりカードを意図的に取り上げ、つくっている物を完成させたいという意欲と次の活動のめあてをもたせる。</p>

板書計画

<p>みつけて もってかえってきて つくろう あき だいすき ○○こあきのたからばこをつくろう。</p>	<p>ふりかえろう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>*おもちゃ・ゲーム・かざり・コオロギのこと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*おしえたり、きいたり、みたり、あそんだりしたこと</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて つくっているものを、ともだちにおしえよう。</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">こまったこと たすけてほしいこと</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よかったこと したること</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">もっとしたいこと</div> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おしえること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しらべてしたこと ・つくるときにくふうしたこと ・きにいつているところ ・ぜひ見てほしいところ ・あそびかたや、あそぶこつ </div>	